

水郷のまち

シルバー やながわ

第23号

平成28年9月1日発行

編集・発行

公益社団法人

柳川市シルバー人材センター

柳川市東魚屋町17番地3

TEL 73-4585 FAX 73-4515

会員 男性 338名 女性 166名

計 504名

(平成28年8月1日現在)



会員手作り作品「さげもん」旧戸島邸にて撮影

会員募集・仕事募集

市内在住で60歳以上の働く意欲のある方

(植木剪定/草刈/除草/屋内外清掃/

家事援助/農作業/エアコン清掃 等)

柳川市シルバー人材センターにて

10時から入会説明会開催。

(土・日・祝日等の場合変更)

入会説明会参加状況

(平成28年4月から7月)

29名参加

●今後の入会説明会開催日

9月…9日(金)、14日(水)、20日(火)、28日(水)

10月…7日(金)、12日(水)、20日(木)、26日(水)

11月…10日(木)、16日(水)、18日(金)、30日(水)

12月…9日(金)、14日(水)、20日(火)、28日(水)

1月…10日(火)、18日(水)、20日(金)、25日(水)



(入会説明会風景)

平成二十八年度定時総会開催

平成二十八年五月二十七日（金）午後一時から柳川総合保健福祉センター「水の郷大ホール」において、公益社団法人柳川市シルバー人材センターの定時総会を開催し、近藤善彦理事長の挨拶で始まりました。

◆理事長挨拶



理事長 近 藤 善 彦

本日(27日)は、平成二十八年度定時総会を開催しましたので、会員の皆様には、お忙しい中にご出席頂きありがとうございました。

また、公務ご多忙中にも関わらず、金子市長はじめ、ご来賓の皆様にはご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

ご承知のとおり、当センターは、平成十七年四月に(三)センターが統合、その後、センターの事業運営資金であります正味財産が減少したため、公益社団法人に移行した平成二十四年度に財政健全化計画を策定し、平成二十七年度までの四ヵ年間、財政健全化に取り組んでまいりました。その結果、センターの健全運営ができる正味財産を平成二十七年度決算で確保することができました。

これも、会員の皆様のセンターの事業運営に対するご理解・ご協力はもとより、市の財政支援・発注・市職員の派遣など、温かいご

支援によるものでありますし、金子市長に改めて深く感謝を申し上げる次第であります。

一方、センターの基本であります安全就業では、残念ながら平成二十七年度は、傷害事故八件、賠償事故十件、合わせて十八件の事故が発生し、傷害事故では五名の方が骨折で入院される事故も発生しております。会員の皆様には、家を出るときから家に帰りつくまで「事故に遭わない、事故を起さない」を肝に銘じ、安全に対す

る意識を高めて頂くようお願い致します。

会員の皆様もご存じの通り、センターの会員は、年々減少し、現在の会員数は約五百名となり、受注にも影響が出始めております。

このため、平成二十八年度から、今までの月一回の定例の入会説明会とは別に第三、第四水曜日に入会説明会を開催することにしました。会員の皆様には、近所に元気な高齢者がおられれば、「生きがい」「健康寿命の延伸」ができるなど「□□□」によるセンターへの入会勧説のご協力をお願いしているのです。

ご承知の通り、国は六十五歳以降においても働く意欲のある高齢者が、年齢に関わりなくその能力や経験を活かして生涯現役で活躍し続けられる社会環境を整えていく必要があることから「生涯現役社会」「一億総活躍社会」を打ち出しております。

この二つの施策の中に高齢者への多様な就労機会の提供の為、シルバー人材センターの機能強化を図るとしておりますので、シルバー人材センターの役割は、今後益々大きくなるものと考えております。

センターとしましても、会員の就業機会の更なる拡大に取り組んでまいりますので、会員の皆様には、長年培つてこられた知識と経験を活かし、発注者から喜ばれ、信頼・評価される仕事をして頂き

ますよつお願い申し上げます。

◆來賓紹介・祝辞

- ・柳川市長
- ・柳川市議会議長
- ・福岡県議会議員

◆祝電披露

- ・福岡労働局長

◆報道

- ・公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会会長

金子 健次 様
浦 博宣 様
梶島 徳博 様

前田 博 様
櫛井 正喜 様

- ◆報告事項
報告第一号 平成二十七年度予算実績比較
報告第二号 平成二十八年度事業計画
報告第三号 平成二十八年度収支予算
- ◆臨時理事会開催（理事長・副理事長・常務理事選出）
理事長・副理事長・常務理事選出
- ◆就任の挨拶
前副理事長 近藤 善彦
- ◆退任の挨拶
理事長・副理事長・常務理事選出

議長が、全ての審議の終了を宣言し、降壇され、閉会のことばで平成二十八年度の定時総会を開会しました。

◆議長選出

- ・熊丸 宣俊（三橋地区会員）

◆議決権 総会出席会員数

- ・本総会の議決権を有する会員五百一一名（議決権五百一一個）
- ・総会出席会員（委任状による代理出席及び議決権行使書の提出者を含む）三百二十五名（議決権三百三十五個）の定足数の報告による有効成り立宣言。

◆議事

- 第一号議案 平成二十七年度事業報告。満場一致で可決・承認。

- 第二号議案 平成二十七年度決算報告及び監査報告。満場一致で可決・承認。

- 第三号議案 役員選任について。理事、監事をそれぞれ一括採決し、満場一致で可決・承認。



●役員紹介

※がついている方は、新役員になります。

理事長	近藤 善彦	理事	小宮 大吉
副理事長	野口 征治	理事	※古賀 清人
常務理事	高田 淳治	理事	※田中 寛子
理事	※瀬戸口 一光	理事	竹井 澄子
理事	※阿津坂 正直	理事	成清 三文
理事	辻 義雄	理事	成清 博茂
理事	與田 逸美	監事	古賀 和明
理事	※津村 建次	監事	※與田 義之

●専門委員会紹介**①総務委員会（広報、会員拡大関係）**

委員長	成清 三文
副委員長	野口 征治
委員	瀬戸口 一光
委員	他会員 2名

②事業推進委員会（就業拡大、奉仕清掃関係）

委員長	竹井 澄子
副委員長	古賀 清人
委員	阿津坂 正直
委員	田中 寛子
委員	他会員 2名

③安全・適正就業委員会（安全関係）

委員長	辻 義雄
副委員長	小宮 大吉
委員	與田 逸美
委員	津村 建次
委員	他会員 9名

④適正就業対策委員会（適正就業関係）

委員長	竹井 澄子
副委員長	辻 義雄
委員	古賀 清人
委員	阿津坂 正直
委員	田中 寛子
委員	小宮 大吉
委員	與田 逸美
委員	津村 建次

●地域正副班長紹介

〈柳川地区〉

柳河	班長	大沢 栄次	城内	班長	彌永 脩一	昭代第1	班長	高田 宣洋
	副班長	山崎 謙徳		副班長	石橋 則幸		副班長	梅崎 春男
昭代第2	班長	池田 司郎	東宮永	班長	山口 義行	矢留	班長	江崎 康夫
	副班長	伊藤 幸義		副班長	三河尻照夫		副班長	江崎 義則
両開	班長	浦 重俊	蒲池	班長	下川 重俊		班長	藤木 武敏
	副班長	石川 仁吉		副班長	藤木 武敏		班長	高田 宣洋

〈三橋地区〉

藤吉	班長	中島 良一	垂見	班長	古賀 義雄	二ツ河	班長	古賀 忠実
	副班長	藤木 正宏		副班長	藤木 和人		副班長	村石 義夫
	副班長	山田 敬		副班長	大橋 彰		副班長	下川 久美
矢ヶ部	班長	竹田 修	中山	班長	田中 功		班長	古賀 忠実
	副班長	野口 秀美		副班長	松藤 則子		副班長	村石 義夫

〈大和地区〉

大和	班長	渡辺 秀行	畠垣	班長	山田 光男	中島	班長	釣崎 辰彦
	副班長	田島シヅノ		副班長	力久 春男		副班長	田中 清二
豊原	班長	藤木 博彦	有明	班長	大津 隆文	六合	班長	江崎 章
	副班長	内田 初男		副班長	松藤 工		副班長	猿渡 博信

●職域班正副班長紹介

〈柳川地区〉

植木班	班長	北原 利治	草刈班	班長	松本 譲	管理班	班長	富重 武彦
	班長代理	藤木 武敏		班長代理	松尾 勇		班長代理	志岐 政則
軽作業1班	班長	梅崎 邦博	軽作業2班	班長	柿野 節子	軽作業3班	班長	山田 治人
	班長代理	妻夫木初次郎		班長代理	立道 静子		班長代理	堀口 俊吉
軽作業4班	班長	今村サダ子	処分班	班長	金子 広行		班長代理	藤木 博彦
	班長代理	井手 和代		班長代理	緒方 春夫		班長代理	金子 哲男

〈三橋地区〉

植木班	班長	友添 秀幸	草刈班	班長	川口 弘巳	管理班	班長	目野 年行
	班長代理	古賀 巧		班長代理	森 勝則		班長代理	高橋 文雄
軽作業5班	班長	金子 哲男	軽作業6班	班長	松藤 早苗	処分班	班長	金子 哲男
	班長代理	石井 増男		班長代理	堤 緑子		班長代理	石井 増男

〈大和地区〉

植木班	班長	中村 新一	草刈班	班長	堤 博満	管理班	班長	藤木 博彦
	班長代理	内田 則昭		班長代理	坂井 光博		班長代理	加賀田未義
軽作業5班	班長	山田 一男	軽作業6班	班長	塙塚 春枝	処分班	班長	浦 和範
	班長代理	加藤 隆一		班長代理	川口毛工		班長代理	田中 義人

〈全体〉

事務班	班長	池田 文子	家事援助班	班長	原田ヤス子	手芸班	班長	藤木 和子
	班長代理	金子 忠義		班長代理	堤 洋子		班長代理	梅崎 夕三
大工・左官・襖・障子張替班	班長	境 澄男		班長	塙塚 春枝	処分班	班長	浦 和範
	班長代理	松藤 一次		班長代理	川口毛工		班長代理	田中 義人

役員視察研修について

副理事長 野口征治

平成二十八年七月十四日から十五日の二日間で佐賀県鹿島市シルバー人材センター及び長崎県長与・時津シルバー人材センターへ「会員の減少対策」・「安全就業対策」・「賠償事故に対する対応」などをテーマに視察研修に行きました。

両センター共、会員の減少については、柳川同様に苦慮されています。柳川と同じように定期的に入会説明会を開催されていますが、今一つというところです。ただ、入会説明会当日に入会手続きを行つたりと各センター独自のやり方を実施していました。安全就業対策も共通の問題で、会員一人ひとりが安全確認・安全就業を十分に意識するといつ当たり前のことが最も大切だということです。そのためにも、就業前に全員(どぶる)リーディングが是非必要だと想います。賠償事故に対する対応についても、免責金額を設け会員負担(ばくさん)により、会員の作業に対する意識・安全に対する意識が大きく変化したことでした。いろいろ課題はありますが、会員全員が毎日楽しく作業できる環境整備に努力していきたいと思います。



鹿島市SC



長与・時津
SC



辻安全委員長による安全就業宣言



福岡県安全就業促進大会について

理事 津村建次

平成二十八年七月十二日開催の県シ連の標記大会の概要

一、安全就業優良センターの表彰

二、「安全標語の表彰」

「安全は、一人ひとりが責任者」

三、事例発表(みやこSCから事故防止策等の発表)

四、「交通安全講話」

高齢者の交通事故防止について

五、「記念講演」「ロコモティブシンドロームの予防」について

六、安全就業宣言

今回の大会の内容を活かし、更なる安全就業に取り組んでいきたいと思いま
す。(安全委員一同)

◎柳川市シルバー人材センターの7月までの催し

さげもんめぐり

(H28. 2. 11～3. 28)

会員の手作りの色鮮やかなさげもん 200 点や柳川まりなどの小物 1,500 点が販売され、県内外から女の子の初節句を迎えた家族の方々が続々と訪れ、大変な賑わいとなりました。



さげもん展示即売会

(H28. 1. 30～1. 31)

健やかな子供の成長を願い、市民あわせての盛大な雛祭りのイベントに当SCも参加し、訪れた地元の皆さんや観光客の皆さんに大変喜ばれました。



接遇マナー講習会

(H28. 3. 16)

会員と一般の 77 名の参加により「水の郷」を会場に、身だしなみからクレーム対応や挨拶などについて学びました。この講習会で得た事を仕事に生かし、気持ちの良い対応を身に付けようと思ふて受講されていました。



手芸講習会 (H28. 7. 13)

古くから継承されたさげもんや、小物づくり等を大事に受け継いでいくうと、熱心に受講されていました。



草刈機安全取扱講習会 (H28. 7. 20)

機械の適正な取扱いと安全作業を徹底するため、多くの会員が熱心に受講されました。



◎柳和会同好会（会員互助会）の活動紹介

カラオケ同好会（老人ホーム慰問 H28. 6. 17）

市内の第二敬和苑を慰問し、日頃の成果を披露しながら入所者の皆さんと楽しく交流しました。



柳和会主催グラウンドゴルフ大会 (H28. 3. 26)

柳和会主催のグラウンドゴルフ大会が開かれ、会員や同センター職員、一般の参加者が共に試合を楽しみながら交流を深めました。



他にも、釣り同好会・手芸同好会があり、活発に活動されております。

シルバーやながわ

「発注者の声」

柳川高等学校

理事長・校長 古賀 賢



柳川高等学校さげもん作り実習風景

柳川市シルバーセンター様には、平成二十二年度より、校舎内外の、生徒では行き届かない箇所の清掃等をお願いしております。会員の方々は皆様誠実で、こちらからの依頼を気持ちよく引き受けさせていただきます。雨の日や風の強い日、また暑い日でも嫌な顔ひとつされず一生懸命仕事に取り組まれている姿に、こちらが日々励まされる思いです。

まだ、平成二十四年度からは、地元柳川の伝統を学ぼうといつづけで、「さげもん」作りを実施し、その講師をお願いしています。運針もままならない生徒たちに対して根気強く、丁寧に教えて頂き、完成した桃の作品に生徒たちは大変感動しています。最終日には「まだ、来年もうろしくお願いします」という挨拶を申し上げ、次の年に元気なお顔を拝見することが、今ではとても楽しみになっています。

末筆ではあります、会員の皆様のご健康と、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

「発注者の声」

株乗富鉄工所

代表取締役 乗 富 銀 藏



株乗富鉄工所本社

柳川市シルバーセンター様、会員の皆様には平素より大変お世話になつております。弊社では植栽や除草作業、事務所や工場内の清掃をお願いしております。毎日広い範囲を隅々まで手際よくきれいにしていただいているので、従業員一同、大変気持ちよく働く事ができ、感謝しております。
「おはよーいさじます。今日も暑かね~!」とにかくしながり出勤してこられ、掃除道具を片手に直ぐに作業に入られます。これからお頼みしないでても、雨の日朝は足跡の残った玄関から拭き上げていただきたり、従業員がよく使用する場所は何度も戻って清掃していただきたりなどの細やかなお気遣いやお心配は私たちが学ぶべき姿だと、いつも心付かせていただいているります。

センター事務所の方々におかれましても、突然の依頼やトラブルにも早急に丁寧に対応していただき感謝しております。今後とも変わらぬお付き合いの程、よろしくお願い申し上げます。皆様の一層のご健康、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

「会員のひろば」



吟詠でボケ防止と

ストレス発散

三橋会員 岡崎 晃



吟詠会発表風景

第二の人生を歩み始めて早や十年が過ぎようとしています。吟詠との出会いは、若い頃に友人のお誘いで入門したのがキッカケでした。今日のようにカラオケもない時代なので新鮮さと物珍しさもあり、夢中で勵み人から勧められると懶惰もなく人前で吟じたものです。

一時、転勤で止めざるを得なかつた時もありましたが、吟詠をたしなむお陰からか、あらゆる面において助けられ、その良さと素晴らしいを痛感したこと何度もあります。

現在は、月一回の練習日に定めを運び、会のお世話になり、上部機関員との出会いも加わりて、人脈・交流の場も広がります。ボケ防止として、また、腹から声を出すことによるストレス発散効果も高いことから、吟詠を唯一の趣味として生涯続けられるように頑張ります。

「会員のひろば」



短歌を詠む楽しみ

三橋会員 高原宏子

文化祭出展作品（左から4番目）
垂見コミュニティセンターにて

シルバー人材センターにお世話になつて早くも十年になります。そして「みつけじ短歌会」会員になつても五年でしょうか。若い頃から短歌に興味はありませんが、定まった字数の中で情景や情感などを詠み伝えるのは難しく、時には作らねばといつ重圧を感じることもあります。しかし、短歌は千三百年もの間、人々に詠まれ親しまれてきたものだとされています。それは、三十一文字の歌から、詠んだ人と読む人それぞれの連想する世界が自由に大きく広がることで、心が慰められ、和まされてきたからではないかと私なりに思っています。そう考えると、いくつか気持ちも軽くなり、作歌も楽しいものに思えます。各地で歌会は開催され、応募し、いろんな方と出会い、又、選者の批評を聞いて新しい発見にもつながります。会員の中には、宮内庁歌会始一で選ばれた方もおられます。日常生活を歌にしたい。これからも頭の体操のつもりで続けていこうと思っています。

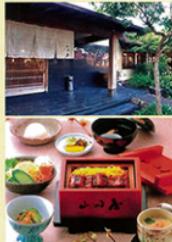
グッド・デザイン施設選定証 **(受賞)**

玉名温泉 日帰り・お泊り

しょう げん さん そう

尚玄山荘

熊本県玉名市河崎1番地1
TEL 0968(72)2266(代)



日本料理

山の庄



柳川市三橋町柳河 585-1
TEL (0944) 74-0883

「老いても、身体が不自由になっても、自分らしく住み慣れた我が家、地域で暮らし続けたい」



—そんな願いを

応援します！



社会福祉法人グリーンコーポ

〒832-0806 柳川市三橋町柳河4番地1

デイサービスセンターつどいの家柳川 TEL72-7786

ふくしサービスがお (訪問介護) TEL72-8100

ケアプランセンター筑後 TEL72-8117



応援しますあなたの暮らし
新鮮良品こだわりの店

マルマツ



福岡県柳川市上宮永町394-5 営業時間のご案内
TEL 0944-72-3654 あさ9:30 よる8:00

広告協賛ありがとうございました。

さて、会報「シルバーやながわ」は、今回で第132号の発行となりました。今後も会報が、会員とセンターの接点としての役割を果たし、親しみをもって読んでいただき、かた、市民の方々にもシルバー人材センターの理解を一層深めていただけため、センターの間近の情報を伝えられるように紙面の充実に努めてまいります。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

九月とはいって、まだしばらく残暑が続きそうです。熱中症対策等体調管理には十分注意し、暑い夏を乗り切つていいかと思います。四月に発生した最大震度七といふ九州では観測史上最大の熊本地震は、いつ起きるかも知れない自然災害の恐ろしさと不斷の準備や心構えの大切さを教えてされました。やはり、「想定外」は起きると改めて学びました。尊い命を犠牲にされた方々に心からご冥福をお祈りいたしますと共に、被災された住民の皆様の一日も早い復興を願っています。



編集委員一同